

学校だより **本荘**
2023 **Smile**

令和5年度 第25号
令和5年9月19日
熊本市立本荘小学校
校長 西川 英臣

6年生の修学旅行その1。思い出に残る、「学びを修める」旅行となりました。



6年生の修学旅行に引率で同行しました。6年生の思い出の一つである修学旅行。左の写真は、その様子です。縦の写真は、追悼平和祈念館での平和集会の様子です。今年度の平和集会は原爆資料館の地下2階、「追悼空間」というところで行いました。この施設は、原爆投下により亡くなられたすべての方々への追悼と平和祈念を行う場所です。入口には原爆死没者の方々が求めた「水」をたたえる水盤があり、夜になると灯る約7万の追悼の明かりが幻想的な雰囲気を作り出します。

追悼空間には原爆死没者の氏名を記載した名簿が納められており、光が注がれる中、静かに平和と向き合う祈りの空間となっています。大変厳かな雰囲気の中、子どもたちは平和集会を行いました。子どもたちの「二度と戦争による苦しみや過ちを繰り返さない。」という気持ちが伝わってきました。この集会で歌った「ナガサキの有る国で」を聞かれた、添乗員の米本さんが「子どもたちの真剣な思いが伝わってきました。」と感動してくださいました。子どもたちの平和学習の積み重ねが、歌声となって伝わったのだと思います。

また、この日は、語り部の溝浦 勝(みそうら まさる)さんから貴重なお話をお聞きすることができました。(写真右下)核兵器の問題は現代の大きな課題でもあります。原爆投下直後の様子、家族を失われた時の思い、ご自身がどのようにして生きてこられたかというお話など、貴重かつ悲しいお話をしてくださいました。子どもたちは大切なお話を一言も聞きもらすことがないように、目と耳と心で一生懸命に聞いていました。(裏面へ)

語り部の方は、自分の一番つらかったこと苦しかったことをお話されます。子どもたちはそのお気持ちを十分に理解していたのだと思います。

修学旅行第1日目では、ボランティアガイドの方々から直接お話を聞いたり、原爆資料館で見学をしたりしました。平和は大切にしていけるべきものであり、自分たちがつくりあげていくものであることを学び直した6年生であり、修学旅行団一行でした。(校長)

校長先生の虫眼鏡 「フィールドワークで回った場所」

他の学年のみなさんもぜひ見ておいてください。6年生になったら、修学旅行で、このような場所を巡るのですよ。楽しみです。



平和公園



永井博士記念館、如己堂



浦上天主堂



長崎港



長崎駅



出島



眼鏡橋



長崎歴史文化博物館



大浦天主堂

おまけ♪

中華街でのスナップです。今年度のお昼ご飯は中華街でいただきました。おいしかったです。

